



未来の先生展
2017

School of learning for life ("生きる"を学ぶ学校)

- デンマークのフォルクヘイスコーレに学ぶ教育のあり方 -

パネルディスカッション公演形式

開催日時 2017年 8月 26日(土) 16:20-17:50

場 所 武蔵野大学有明キャンパス 1号館 2F 206 教室

講演者 ガルバ・ディアロ氏、的場陽子氏

内容

1部 フォルクヘイスコーレの紹介

フォルクヘイスコーレ（国民高等学校）は、デンマークおよび北欧諸国特有の成人教育機関の名称。17歳以上なら、誰でもいつでも入学することができるのが特徴です。すべてのフォルクヘイスコーレは全寮制であり、全校生徒・教師が同じ校舎内で暮らしを共にし、生活の全てを通じて学びを深めます。1部にて概要をお話します。

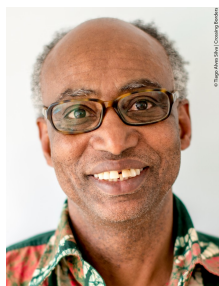
2部 ガルバ・ディアロ氏の講演（オンライン講演）

デンマークのフォルクヘイスコーレにおける教師、校長、クロッシング・ボーダーズの代表を通じて得た経験についてお話しします。

3部 日本での活動について

IFASのHPをリリースして以来、多い時には月15件ほどフォルク留学に関するお問い合わせをいただくようになりました。またフォルクヘイスコーレを卒業した人たちと日本で交流しながら、日本社会に帰ってきた時のギャップについて話をする機会も増えてきました。"フォルクヘイスコーレをいずれ日本につくる。"これは、IFASの一つの目標です。今の日本にフォルクヘイスコーレは必要か。どのような人たちが通いたい、通う可能性がありえるか。場所はどのような場所がいいか。どんな運営方法がいいか（自治体と組む？私立？）など、日本にフォルクヘイスコーレをつくる上でのアイデアを会場にいらっしゃる皆さんと話す場を設けたいと思っています。

講演者プロフィール



ガルバ・ディアロ氏

クロッシング・ボーダーズ ディレクター&ファシリテーター

中東（カタール）、西アフリカ（モーリタニア）、スカンジナビア（ノルウェー、デンマーク）にて居住、勉学の経験がある。グローバルイゼーションに関する様々な課題、例えば国際機関、紛争管理・移行、メディア・アウェアネス、気候変動に関して、教育活動や対話の取り組みを行っている。クロッシング・ボーダーズにてクロッシング・ボーダーズ・グローバル・スタディーズを教えている。デンマークのNGOであるクロッシング・ボーダーズの創業者兼取締役。



的場 陽子氏

IFAS

1986年兵庫県生まれ。東京で4年半教材製作会社（ベネッセコーポレーション）に勤務したのち、隠岐諸島の海士町にある公営塾の講師として中高生の進路指導に3年関わる。一人ひとりの感性を伸ばし、天性を見つけられる場づくりをしたいと考え、かねてより興味のあったデンマークに留学を決意。フォルクヘイスコーレの卒業後もデンマークに引き続き滞在し、VIA University Collegeにて社会教育を学び、帰国。いずれは日本にフォルクヘイスコーレのような場をつくりたいと考えている。